



にじのはし幼稚園 園だより



令和 5 年 3 月 号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

今年度 1 年間、本園の教育理念「生きる力の基礎」を育てまいりました。

幼児教育において育みたい資質・能力(生きる力の基礎)を育む

- 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
 - 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
 - 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」
- (幼稚園経営計画 1 教育理念 より)

近年の教育は、変化の激しいグローバル社会に必要とされる資質・能力である「21 世紀型スキル」の獲得を目指しています。このスキルは、認知能力、対人関係能力、人格特性・態度といった多面的な力が総合的に働き、個人の人生の成功と社会の持続的発展に貢献できる能力です。「何を知っているか」ではなく、知識や技能を活用して「何ができるか」が大切であり、知識が豊富なだけでは意味がなく、知識や技能を活かして課題解決することが重要とされています。このスキルは、知識偏重の学び方や大人の一方的な教え込み、与えられた課題をこなすことでは育たず、子ども自身が興味関心をもった対象に主体的に関わり、状況を変えようとしたり、問題を解決しようとしたりするプロセスの中で育ちます。

先日、好きな遊びの中で、年中・年長組の女児が映画に登場するプリンセスに憧れ、ドレスやアクセサリーを作りました。カラービニール袋に雪の結晶の形の飾りを配置を考えながら付けたり、ビーズの色や種類、個数を決め、規則正しく配列したりするなど工夫を重ねて制作しました。集中して根気強く取り組み、感性を働かせながら指先を器用に動かし、作り上げた作品の美しさに満足していました。その後はファッションショーになり、作ったものを身に付け、巧技台のランウェイをモデルになりきって歩き、銘々に自分が考えたポーズをきめていました。年少・年中・年長児とたくさんの友達が観客の中、見てほしい思いと緊張感が混在している幼児は、歩き出すことを躊躇していましたが、友達と互いに気持ちを支え合いながら勇気を出して挑戦しました。友達の中で自分が表現し、見てもらえる(認めてもらえる)喜びを感じ、自信につながる経験となりました。

本園は人生の始まりの時期の幼児教育において、この 1 年間、能動的に問題解決に取り組んでいく資質・能力(生きる力の基礎)を幼児に育てまいりました。日々の主体的な遊びの中で様々な体験を通して、目的に応じて“もの”を適時適切に使おうとしたり、他者との関わりを深めたり、他者に伝えたいことを表現したりするようになりました。人・もの・ことに関わり様々に感じながら、関わる対象のもつ法則性や特性を理解したり、対象と関わる自分自身を理解したり、共に生活する他者への理解が深まったりしました。幼児は、理解したことを連動させて、深く思考しながら遊びや生活を進めるようになりました。4 月に幼児は進学・進級を迎えます。1 年生は学びのスタイルが変わりますが、進学・進級後も本園で育んだ資質・能力を生かしながら主体的に学び続けてほしいと願います。

保護者の皆様には、本園の教育に温かいご理解・ご協力いただいたことに、職員一同、厚く御礼申し上げます。